

第27期 決算公告

貸借対照表

(令和4年3月31日現在)

和歌山市中之島2249番地
紀陽リース・キャピタル株式会社
代表取締役社長 山本 敏樹
(単位:円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	15,181,872,125	流動負債	4,982,643,868
現金及び預金	649,668,195	買掛金	642,269,572
割賦債権	3,700,146,949	長期借入金(一年以内返済)	4,225,268,000
リース債権	11,547,751	未払金	12,140,035
リース投資資産	10,855,838,056	未払費用	18,745,650
賃貸料等未収入金	38,015,246	未払法人税等	13,362,200
未収入金	7,238,370	賃貸料等前受金	15,313,200
未収消費税	45,137,750	預り金	32,795,500
前渡金	500,000	前受収益	11,513,167
前払費用	83,849,340	その他の流動負債	2,368,773
その他の流動資産	1,050,543	賞与引当金	8,867,771
貸倒引当金	△ 211,120,075		
固定資産	347,916,645	固定負債	8,896,975,281
(有形固定資産)	(31,797,253)	長期借入金	8,778,825,000
賃貸資産	17,149,724	退職給付引当金	5,675,600
社用資産	14,647,529	繰延税金負債	112,474,681
車輛	4,357,926		
備品	10,289,603		
(無形固定資産)	(87,220,362)	負債合計	13,879,619,149
その他の無形固定資産	87,220,362		
無形自社資産	74,706,162		
ソフトウェア仮勘定	11,407,000		
電話加入権	1,107,200		
(投資その他の資産)	(228,899,030)		
投資有価証券(株式)	28,386,700		
破産更生債権等	21,216,729		
差入保証金	506,364		
預託金	19,426,920		
貸倒引当金	△ 20,637,683		
		純資産の部	
		科目	金額
		株主資本	1,525,842,110
		資本金	150,000,000
		資本剰余金	27,911
		資本準備金	27,911
		利益剰余金	1,375,814,199
		その他利益剰余金	1,375,814,199
		繰越利益剰余金	1,375,814,199
		評価・換算差額等	124,327,511
		その他有価証券評価差額金	124,327,511
		純資産合計	1,650,169,621
資産合計	15,529,788,770	負債及び純資産合計	15,529,788,770

重要な会計方針

1. 有価証券の評価基準及び評価方法

その他の有価証券	時価のあるもの 時価法 時価のないもの 移動平均法による原価法
----------	------------------------------------

2. 減価償却の方法

賃貸資産	リース期間を償却年数とし、リース期間満了時の処分見積価額を残存価額とする定額法
------	---

車輛及び備品	法人税法に定める定率法
--------	-------------

無形自社資産	法人税法に定める定額法
--------	-------------

3. 引当金の計上基準

- | | |
|-------------|--|
| (1) 貸倒引当金 | 債権の貸倒れによる損失に備えるため、資産の自己査定基準に基づき計上している。 |
| (2) 賞与引当金 | 従業員の賞与の支給に備えるため、賞与支給見込額のうち当期の負担に係る金額を計上している。 |
| (3) 退職給付引当金 | 従業員の退職金の支給に備えるため、自己都合退職による期末要支給額に相当する額を計上している。 |

4. 収益・費用の計上基準

- | |
|---|
| (1) ファイナンス・リース取引に係る売上高および原価の計上基準は、リース料を収受すべき時に売上高と売上原価を計上する方法により処理している。 |
| (2) 割賦販売取引は、資産の販売等に係る契約の対価の額と現金販売価格との差額を利息に相当する金額と認識し、賦払金を収受すべき時に利息法により計上する方法により処理している。 |

5. 消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式を採用している。

6. 税効果会計を適用している。